

令和7年度総合計画施策評価シート(令和6年度実施分)

基本姿勢1 安心で魅力ある「定住のしま」 ～分野3 人をつくり、地域を守るまちづくり～	
政策2 生涯を通じて学べる学習環境づくり	本文P60～61

基本方針	地域づくり、人づくりの観点から、町民が生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学べる環境づくりと充実に努め、学びを通じて仲間づくりや交流など地域の連帯と地域教育力の向上に努めます。
------	---

1-3-2-① 生涯学習機会の充実	担当課	生涯学習課
-------------------	-----	-------

1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	○生涯学習施設を活用した新上五島町文化協会加入団体、生涯学習サークルの活動を支援した。また、文化団体の研鑽の成果である発表の場「町民文化祭」の開催を支援している。 ○自治公民館活動の支援として単位公民館の活動「モデル公民館活動」を支援している。	
SDGsとの関係性		【選定理由】 すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。
評価(問題点とその要因)	○文化協会主催の「文化祭」は、前夜祭の実施、翌日は舞台発表。また、絵画・書道など住民の作品展示もおこない、文化・芸術の進行に寄与している。なお、文化祭では五島市文化協会との相互交流も行っている。	
今後の取組方針	○地域における生涯学習の充実のため、文化協会・生涯学習サークルの活動を支援するとともに、その時々参加者のニーズにあった公民館講座を開催して生涯学習環境の充実を図る。	

2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
1	公民館講座開設数		講座	4	10	10	10	10	10	100.0%
					5	6	11	4	11	
	《成果指標の進捗状況》				担当課	生涯学習課				R2
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									C
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									R3
	心豊かで、生きがいを感じる生涯学習の推進のため、それぞれのニーズに応じた学習機会の提供に努め、公民館活動に対し支援を行った。公民館講座については、スマホ教室や高齢者大学のマリンピア大学、あこう大学、ろざん大学等1年を通じて生涯学習機会の提供をして実施した。									C
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									R4
	①課題									A
	公民館講座を活用して取り組んでいく上で、年齢層に偏りなく参加できる内容と環境づくりや新たな思想・手法を取り入れる努力が必要。									R5
	②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									C
各世代の需要をできるだけ反映させ、講師等の人材育成に努め、講座が魅力的なものになるよう取り組んでいく。今後も地区に偏りなく開催したい。									R6	
									A	

1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	○「学び」の喜びを育む生涯学習の推進のため、社会教育関係団体(青少年育成協議会等)・自主学習グループの育成と活動支援を行い、所外学習基盤の充実を図った。また、ジュニアリーダーの育成、姉妹町村等との交流を図るため、毎年、長野県北相木村、熊本県南阿蘇村との体験交流学習事業を実施している。
SDGsとの関係性	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> </div> <p>【選定理由】 すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。</p>
評価(問題点とその要因)	○異なった環境での体験、交流を通してジュニアリーダーとしての人材育成が図られ、子ども会の活動の活発化、人的交流による地域活性化が図られている。また、姉妹町村との相互交流を図ることで郷土を愛する心も育むことができる。
今後の取組方針	○「学び」の喜びを育む生涯学習の推進のため、限られた予算のなかで社会教育団体等への活動支援及びジュニアリーダーの育成、姉妹町村等との交流を実施して他の地域についての理解、郷土愛を育成していく。

2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率		
					R2	R3	R4	R5	R6			
1	子ども体験交流学習参加者数		人	41	60	60	60	60	60	48.3%		
					4	13	7	27	29			
	《成果指標の進捗状況》					担当課 生涯学習課						
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った											
	<u>①取組状況、結果、分析</u> ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。					各年度の 評価						
	姉妹町村である熊本県南阿蘇村と長野県北相木村は体験交流学習を毎年交互に体験交流者を募集し実施している。南阿蘇については令和6年度は夏に本町で20名程度を募集し実施した。北相木村については、夏休みには本町で、冬休みには北相木村でそれぞれ10名程度募集し実施している。合計で30名程度募集は行っているが今年度の参加者は夏季冬季合わせて29名が参加した。下回っている理由については体験交流を行っていた姉妹町村3つの内の1つとの交流が途絶えてしまっていることが1番の理由だと思われる。										R2	C
											R3	C
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										R4	C
	<u>①課題</u>										R5	C
	交流学習においては、南阿蘇村、北相木村の参加数に対し児童・生徒数を合わせることが望ましいが、少子化等により参加者の人数を確保するための取り組みが必要。また、参加人数を増やすために他の人にも勧められるような体験も必要。										R6	C
<u>②必要な取り組み</u> ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載					R6	C						
少子高齢化による児童の減少もあるため、参加者の感想も含め、経験者による事業の魅力を広げる働きかけを行っていく。また、高度情報化社会の中で、実際に自然の中での体験することなどの魅力もあるため発信していく必要がある。					R6	C						

1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	○生涯学習の拠点として【いつでもどこでもだれでも】利用できる図書館を目指し充実に努めた。 また町民の学びを支援するための資料収集や情報提供に努めた。
SDGsとの関係性	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育をみんなに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>16 平和と公正をすべての人に</p> </div> </div> <p>【選定理由】 すべての人に平等に質の高い教育を学ぶ機会を提供し生涯にわたり、より良い生活を営むための学習拠点として、また人づくり・町づくりの地域の拠点となるため図書館の充実に努める。</p>
評価(問題点とその要因)	○図書館は多様な場であり、地域の身近な文化施設として、さまざまな世代の利用に対し、適した資料や情報を提供するため、町民に広く情報を発信していかなければならない。
今後の取組方針	町民が生涯にわたって学習する機会や場を提供するために、資料の収集・充実に努めるとともに、図書館利用の多様化に対応するため、図書館機能・環境を整備していく。また、図書館ホームページの活用を促進し利便性の向上を図る。

2. 重要業績評価指標(KPI)評価

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率	
					R2	R3	R4	R5	R6		
1 ひと	図書貸出冊数	町民1人当たりの図書貸出冊数	冊	7	7 7.6	7 7.87	7 7.23	7 7.36	7 7.24	100.0%	
	《成果指標の進捗状況》				担当課	生涯学習課				R2	
	・達成状況 ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input type="checkbox"/> 実績が目標を下回った										A
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。										R3
	利用者の読書活動や様々な課題解決のサポートを積極的に行った。 また県立図書館の取寄せ申込みサービスを活用し、多様なニーズに対応することができた。 子どもの読書活動については、町内全小中学校に配本サービスを行い、「いつでも手が届く所に本がある」環境づくりに努めた。また高齢者施設にも配本サービスを行っており、これらが利用冊数に反映されていると思う。				各年度の 評価						A
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み										R4
	①課題										A
	児童・生徒の減少や地域の高齢化により図書館に来館される人が減少している。										R5
	②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載										A
	これまで通り、利用者の方々への窓口業務・移動図書館業務を丁寧に行っていく。その上で、図書館利用の多様化に対応したサービスの対応を検討していく。また人々のつながりを生かした読書活動を推進し、幅を広げたい。										R6
										A	

2次評価委員会からの評価・意見等

町民の生涯学習活動を促進し、いつでも自由に学習機会を選択して学べる環境づくりと充実に努め、学びを通じて仲間づくりや交流など地域の連帯と地域教育力の向上に努めている。地域間交流の取組においては少子化の影響もあり参加者が思うように集まらない現状もあるが、子ども達が幅広い視点で様々な体験を行うことは大変有意義なことであり継続していく必要がある、事業の実施方法も含めて改善を図りながら魅力ある生涯学習の機会の維持確保を図っていく必要がある。